

- 2面 若年者ものづくり競技大会 造園競技に24名が参加
2年連続金賞を齋藤選手が受賞
【学会の目・眼・芽】学会の研究推進委員会に注目
(公社)日本造園学会理事 大阪公立大学農学部教授 加我 宏之
- 3面 日造協 出版物のご案内 造園業を営む方に向けた各種書籍を発行しています
【日造協会員のSDGs】複層林形成による次世代の森林づくり
(株)富士グリーンテック
- 4面 【ふるさと自慢】中心都市でありながら、自然と文化が融和した街
高知県支部 武市 元太 (入交道路施設(株))
【緑滴】父から息子へ、カブトムシの翼
京都府支部 林 宏樹 (株)林造園建設工業)

都市緑化キャンペーン2024 天河国土交通審議官らが花鉢配布しPR



中央：天河宏文国土交通審議官、左：高梨雅明都市緑化推進運動協会会長、右：河村正人2027年国際園芸博覧会協会事務総長 着物の女性は日本さくらの女王、さくらプリンセス

「都市緑化キャンペーン2024」が10月4日、東京都千代田区の有楽町駅前広場で行われ、セレモニーでは、天河宏文国土交通審議官、高梨雅明都市緑化推進運動協会会長、河村正人2027年国際園芸博覧会協会事務総長、第30代日本さくらの女王、第30代さくらプリンセスがプレゼンターとして登壇、来場者に花鉢を配布した。

キャンペーンは、「ひろげよう 育て

よう みどりの都市」をテーマに、日造協をはじめ、緑化関連の17団体が構成される都市緑化推進運動協会等が主催、国土交通省、東京都、千代田区、全国知事会・市長会・町村会の後援で開催。

第41回全国都市緑化かわさきフェア、第42回全国都市緑化ぎふフェア、GREEN×EXPO2027(2027年国際園芸博覧会)の紹介や海上保安庁音楽隊コンサートも行われ、多くの人で賑わった。

樹林

(一社)日本造園建設業協会理事
アゴラ造園(株)代表取締役社長 荻野 淳司



造園という職業像を広くPRする

以前から「造園の仕事は？」と聞かれると、「毎日生活している中で緑色に見える所をつくる仕事です。」と答えている。

最初は、その対象が樹木や花を植えたり、管理したりすることを指していたが最近では違う。「毎日生活している中でみどり色に見える空間を創ったり育てたりする仕事です。」と答える。ほとんど同じかもしれないが、私には少し違いを意識している。

まず、みどり色だ。かつては緑色を色彩としての緑＝樹木や草花を具体的に対象として表現していたわけだが、今はみどり＝オープンスペースを含めた緑地の概念として理解している。従って、空間を創造し育てていくことが、私たちがシンプルに捉えている造園の仕事であると思う。

東京有数のビジネス街に森ができて久しい。高層ビルに挟まれた約4,000㎡の「大手町の森」である。移植した約100種の樹木や地被類は1.5年で約300種に増え、鳥類や昆虫が飛来するようになり、この10年で独自の生態系が育まれてきた。当時の話題性はもちろんのこと、現在においても時間軸で観察する意義は大きいと考える。

この大手町の森をはじめ近年都市内では数多くの商業エリアでみどり色の空間を目にする。みどり色の中にまちが存在すると表現したほうが正しいかもしれない。また、田畑や養蜂ができる里山のランドスケープを表現した「東京ポートシティ竹芝」などは、現代における新しい都市空間の創造だ。

これらは東京ばかりの動きかと思いきや、つい先日新聞紙上では、「グラ

紹介を行った。

また、会議終了後は懇親会を開催。全国各地からの参加者が交流、意見を交わした。

国交省 関東地方整備局道路部と意見交換 腐朽診断や除草の最新技術を紹介、要望書を手交

日造協は、9月25日(水)、国土交通省関東地方整備局道路部と意見交換会を行った。

当日は関東地方整備局道路部幹部と日造協和田会長をはじめとする本部業務執行理事、関東・甲信総支部長、支部長が出席した。

意見交換会は毎年冬に実施しているが、1月1日に起きた能登半島地震の影響で延期となり、今回の開催となった。

会議では、日造協から藤吉専務理事より日造協の活動について、また山田群馬

県支部長から打撃音樹内腐朽簡易診断装置や温水除草システムといった新工法の紹介を行ったあと、要望事項を中心とした活発な意見交換が行われた。

意見交換会では、最後に鈴木義人関東・甲信総支部長から関東地方整備局道路部

人事異動

国土交通省都市局関係(10月1日付)
辞職＝勝又正秀(大臣官房審議官(都市生活環境・国際園芸博覧会担当))

ングリーン大阪」が掲載された。「大阪都心に広がる比類なきみどり」と言い大阪駅前に約4.5haのまとまったみどり空間を創出すると知った。

このように最近の都心では都市公園のみならず民間施設における緑地空間の量、質ならびに機能性の向上は正に日進月歩である。そしてこれらのみどりの効果は、いまさら言うまでもなく、人にやさしく、地球にやさしい。加えてみどり空間を多様に使うことによって生み出される、みどりの経営ビジネスの可能性は大きい。

今後さらにみどりの可視化による経済効果が飛躍的にあがると期待される。言うことなしである。

今まで、全国造園フェスティバルや各種イベントなどあらゆる機会を通して、私たちは都市緑化の意義やみどりの快適性をPRしている。しかし、社会に対し造園という職能を広く伝える工夫ができていたか疑問を感じている。

これからは、緑はいいですよというPRはもちろんのこと、それ以上に造園という「職業」は、みどり環境空間の創造によって、素敵なまちづくりを通し社会に貢献していることを世間に広報すべきである。そして産業としての魅力を広く発信したい。

ところが、これは従前から思い知らされているとおり、会員企業一社ではなかなか困難なのである。やはり日造協が造園のプロ集団として、私たち業界が魅力ある「職業像」をどう伝えられるかを真剣に考え具体的に実行すべきだと思う。そして造園施工界への入職者減少にストップをかけることが目の前の重要課題であると感じている。

令和6年度 全国事務局長会議を開催 役員、委員会、事務局等の新体制を紹介



全国事務局長会議の冒頭、あいさつする和田新也会長

日造協は、9月6日(金)、東京都文京区本郷の全水道会館会議室で、令和6年度全国事務局連絡会議を開催した。

会議では、本部からの依頼事項や情報提供についての説明のほか、総支部・支部の報告等の意見交換を行った。

冒頭、和田新也日造協会会長は、日頃から協会業務運営への多大なご尽力をいただいていることに対する感謝を述べた後、「造園業界を取り巻く環境は、激甚化・頻発化する大規模自然災害に備えた防災・減災対策、人件費・原材料費高騰への対応、さらには、将来の業界の発展に向けて、働き方改革、担い手の育成・確保、本年から建設業界へも適用となった時間外労働の上限規制など、様々な課題への対応を迫られている。こうした課題の中、日造協活動の強化や円滑な展開、造園業界の発展に向けて、お集まりの事務局の皆様のお力添えをいただき、これらの課題の解決に取り組んでいきたい。今後も皆様のご理解とご協力をいただき、造園業界の発展と安全で快適な緑豊かな環境づくりに貢献していき



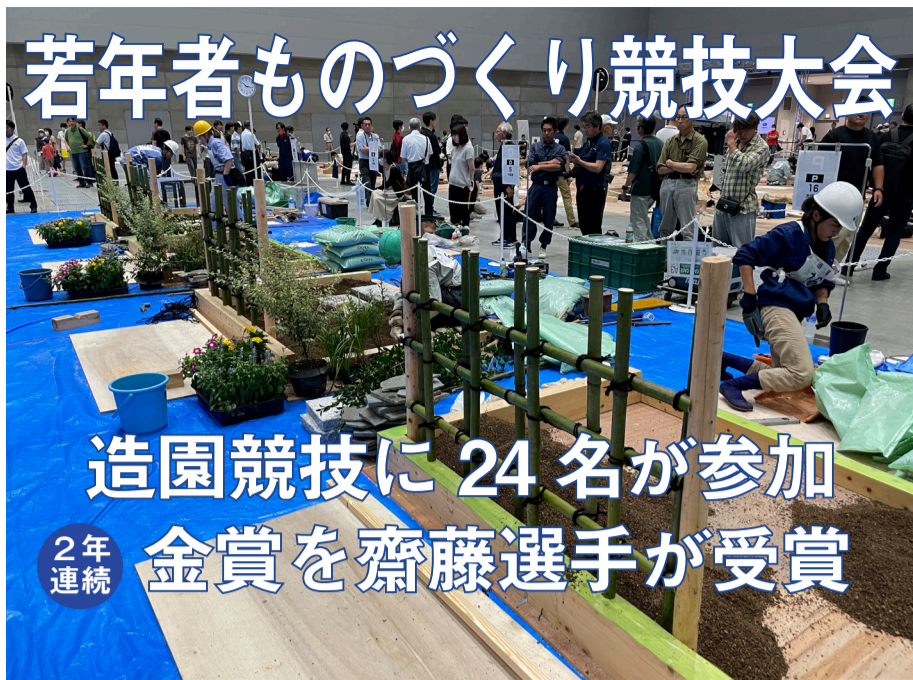
小澤知幸道路情報管理官と鈴木義人総支部長
小澤知幸道路情報管理官に対し要望書の手交を行った。

大臣官房審議官(都市生活環境・国際園芸博覧会担当)＝鎌原宜文(大臣官房審議官(都市局担当))
本部事務局(10月1日付)
上席調査役＝伊藤康行(採用)

若年者ものづくり競技大会

造園競技に24名が参加 金賞を齋藤選手が受賞

2年連続



第19回若年者ものづくり競技大会が7月31日・8月1日に群馬県の3会場にて開催されました。大会の概要を紹介します。

第19回若年者ものづくり競技大会は、厚生労働省と中央職業能力開発協会（JAVADA）の主催により、高等学校等で技能を習得中の

企業等に就業していない20歳以下の若年者を対象に、日々学校や訓練等で培った技能を競い合うことで次世代のものづくり産業を担っていく若き技能者の育成を目的に開催されている。

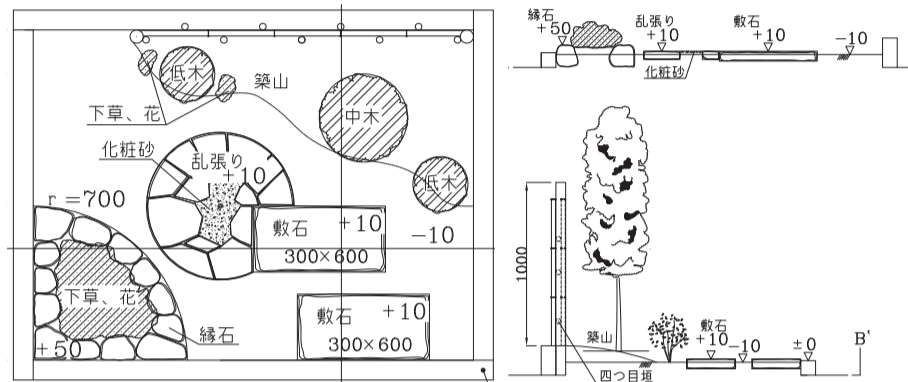
今年度は造園を含め15職種で競技が実施され、造園競技は3会場のうちGメッセ群馬にて開催、高校生や専門学校生24名が出場した。

競技内容としては、決められた課題を2×1.5m区画に、制限時間（3時間半）内に一人作業で作庭するというものである。



金賞を受賞した齋藤選手の商品

緑石用石材



課題の平面図と立面図

四つ目垣の作成や乱張り、石積み、植栽など技能検定2級レベルの課題に取り組み、群馬県立勢多農林高等学校の齋藤彩人選手が金賞を受賞した。なお齋藤選手は今年の静岡県大会からの2連覇となった。

今後も技能者を目指す若者のさらなる増に

繋げていくとともに、造園業界としてもこの大会を通じ、技能技術をより一層研さんし、全国各地の優れた若い技能者と交流できる意義深い機会になることを期待したい。

造園競技 第19回大会 入賞者

金賞 厚生労働大臣賞	齋藤 彩人	群馬県立勢多農林高等学校
銀賞	原田 晴哉	群馬県立勢多農林高等学校
銅賞	佐々木 心愛	奈良県立磯城野高等学校
◇	今中 琢斗	岐阜県立国際園芸アカデミー
◇	碓子 星奈	愛知県立半田農業高等学校
敢闘賞	野々村 光翔	京都府立農芸高等学校
◇	田井中 咲	愛知県立猿投農林高等学校
◇	中川 瑠愛利	東京都立園芸高等学校
◇	兒島 終華	千葉県立我孫子テクノスクール
◇	清水 崇吾	三重県立四日市農芸高等学校
◇	押田 結心	大阪府立園芸高等学校
◇	宮田 陽平	岐阜県立加茂農林高等学校

- 第19回若年者ものづくり競技大会「造園」競技課題（一部）
競技時間内に指定された区画内に施工図に示す庭園を見栄え良く作庭しなさい。
競技時間：標準時間3時間30分 打ち切り時間3時間45分
仕様 3-1 造成：支給された客土（袋入り）を使用し、地盤を計画高に施工する。
3-2 竹垣：竹垣用の丸太、竹などを使用し、詳細図のとおり施工する。
3-3 緑石：緑石用石材を使用し図面のように施工する。

- 3-4 敷石：敷石用石材を使用し、図面のとおり施工する。
3-5 石張り（乱張り）：石張り用石材を使用し、図面のように仕上げる。砂目地とする。
3-6 植栽：中木及び低木を、図面のような感じになるよう土ぎめで植栽する。必要と思われる剪定はしてもよい。
3-7 草花植栽：支給された下草・草花を、指定された区画に修景を考慮し植栽する。
3-8 地均し・整地：仕上げの地均し、整地を行う。

学会の目・眼・芽 第139回

学会の研究推進委員会に注目

（公社）日本造園学会理事 大阪公立大学農学部教授 加我 宏之

学会では、個々の研究活動の発表、情報交換の場の提供に加えて、研究者、技術者とともに、政策分野を担う行政官が集まって、特定のテーマに基づいて、議論し、成果を社会発信する場として、研究推進委員会を設置しています。

今般、2025年度より新たに2年間の活動をする研究推進委員会を募集しています。

研究推進委員会とは、造園学会における諸専門領域の研究向上のための恒常的基盤として設置しており、各々の領域に関わる問題の研究、調査およびこれらの推進を図ることを目的としています。

学会の総合性、社会への戦略的発信、対外的戦略を実現するための性格を持つとともに、国内外の学協会・関係機関との研究連絡などを目指した活動を展開するための組織です。

活動を通じた若手の研究基盤の形成や海外との研究交流といった、新たな役割も期待しています。

その成果を広く社会に発信するため、活動に対しては、学会の人的ネットワークを活用した研究の支援、研究成果を積極的に発表できる場の提供（全国大会、学会誌、学会ホームページ等）や出版助成、運営会議等における学会会議室の使用など、研究活動を活発に展開していただくためのさまざまな支援を行っています。

◆
2023年度からの2年間では、生態工学、風景計画、グリーンインフラ、パークマネジメント、都市公園リノベーション計画技法、日本庭園のこころとわざ、街路樹と7つのテーマで研究推進委員会活動が展開され、それぞれの個別テーマから現代的な社会課題の解決に向けて、社会において緑や緑地の質と量の両面から確保し、その持続的管理・運営に資する科学的知見の蓄積と技術の構築に取り組んでいます。
最新の計画や施工技術と施策展開手法、管理・運営に関わるさまざまな技術を確かなエビデンスに基づいて構築し、社会実装することを目指しています。

◆
研究推進委員会は、学会活動のひとつですので、委員は、学会員である必要はありますが、これを機に学会に入

会し、研究推進委員会に参画してみませんか。

研究推進委員会では、産官学が一堂に会して議論できる場であり、活動に対して、学会からのさまざまな支援がありますので、これを機会に学会を使いこなしてみませんか。

◆
2023年度からの2年間の7つの研究推進委員会の成果、また、2024年度の名城大学の全国大会にて、各研究推進会が実施したミニフォーラムの動画を学会ホームページにて公開しています。

ぜひ、ご参照いただき、また、成果をまとめた書籍の出版を予定している推進委員会もありますので、今後、ご活用ください。



ゼノア バッテリーチェーンソー発売記念!

バッテリー+1キャンペーン

(プラスワン)

期間 2024年10月1日(火) ▶ 12月24日(火)
内容 キャンペーン期間中、対象の3点をセットで購入されたお客様に、バッテリーBLi200 1個をプレゼント!



新発売キャンペーン3点セット

バッテリーをプラスワン!

Gi400T/Gi400

ハイパワーを実現するモーター出力+BLi200Xの組み合わせで、40cmクラスの鋸断性能を実現

- 圧倒的な鋸断性能
- 抜群のバランスと高い操作性
- プロが満足する耐久性・冷却性

NEW
トップハンドルソー
Gi400T

希望小売価格(本体のみ)
(税込) 89,100円

キャンペーンセット購入価格
(本体+BLi200X+QC330ZR)
(税込) 138,930円



質量 2.5kg
(バー&チェーン、バッテリー除く)

NEW
ロングハンドルソー
Gi400

希望小売価格(本体のみ)
(税込) 92,400円

キャンペーンセット購入価格
(本体+BLi200X+QC330ZR)
(税込) 142,230円



質量 2.9kg
(バー&チェーン、バッテリー除く)

当社認定販売店*限定商品 取り扱いについては販売店へお問合せください。
(*当社が実施するサービスハブ講習を受講した販売店です)

ハスクバーナ・ゼノア株式会社
info.hv@husqvarna.jp ゼノアHP www.zenoah.com/jp/

0570-550933
受付時間9:00~17:00(土・日・祝日除く)

キャンペーンサイトはこちら



日造協 出版物のご案内

造園業を営む方に向けた各種書籍を発行しています

本号では、日造協の出版物の一部をご紹介します。出版物は協会ホームページ [図書紹介] ページより購入できます。https://www.jalc.or.jp/publish/index.html

『街路樹剪定ハンドブック』



街路樹剪定士
街路樹の管理者
「街路樹剪定士」資格制度の技術研修会用の教材として出版以降、剪定に関わる様々な情報を書き加え、地域性と豊かな緑量を持つ街路樹を育むための技術書である。
一般 ¥6,050 会員 ¥3,850

『公園・緑地樹木剪定ハンドブック』



緑地樹木剪定士
公園や緑地の樹木管理者
公園や緑地の樹木の求められる機能に応じた育成・管理方針の考え方、長期的な視点による管理目標樹形の設定とそれを実現するための剪定の考え方及び剪定技法の解説に重点を置きとりまとめたものである。
一般 ¥5,500 会員 ¥3,300

『美しい街路樹をつくる』



街路樹剪定士、街路樹の管理者
長期にわたり不適切に管理された「街路樹」も、適切な剪定・管理により「良好な街路樹」にすることができる。その「樹形のつくり直し」について、手法と取り組み方を写真やイラストを多用し解説したものである。
一般 ¥5,500 会員 ¥3,300

『植栽基盤整備ハンドブック』



植栽基盤診断士（士補）
樹木の管理者
植栽基盤整備に必要な基礎知識から調査・診断や整備工法と具体的提案を行うために分かりやすく解説したものである。造園系の技術者の参考図書であるのはもとより、土木、建築等の建設系技術者や発注者でも植栽基盤整備について理解しやすい内容となっている。
一般 ¥5,500 会員 ¥3,300

『植栽基盤整備』



植栽基盤診断士（士補）
植栽基盤整備の調査方法と調査器具の取り扱い方、診断について、手順を追って解説したものである。
一般 ¥2,200 会員 ¥1,650

『だれでもわかる安全な造園作業』



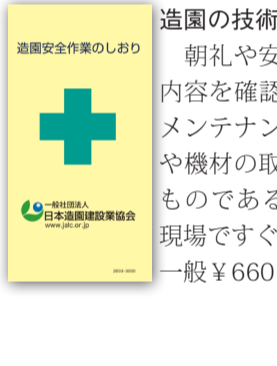
造園を学ぶ高校生や学生、新規就労者
造園の現場をあまり知らない学生や新規就労者でも、安全衛生に関する正しい知識と技術の習得と危険の予知と回避する行動や判断力が身に付き、周囲への安全の配慮や意識高揚として活用できるようわかりやすく整理してある。また、ワークシートも収録されており、グループ学習にも活用できる。
一般 ¥2,750 会員 ¥1,650

『造園安全衛生管理の手引き』



造園の技術者・技能者、事業者
造園建設業の安全水準が向上し、労働災害・事故を撲滅するために作成。造園の施工現場や事業場において、いつも手元において必要に応じて参照できる安全の資料集として、また職場の自主的な安全衛生管理活動を進めるための手引きとして活用していただくことを目指してとりまとめたものである。
2024年10月に改訂し、最新の労働安全衛生関係法令に基づき、事業者（企業）が実施すべき対策と現場で実施すべき対策を明確にし、造園工事の現場で行う主な作業や使用する機械ごとの安全対策を再整理し解説を加えている。
一般 ¥3,850 会員 ¥2,200

造園安全作業のしおり



造園の技術者・技能者
朝礼や安全大会で作業にかかわる安全内容を確認・共有しやすいよう、工事やメンテナンスの作業別注意点、服装点検や機材の取り扱いなどについて掲載したものである。胸ポケットサイズなので、現場ですぐに確認できる。
一般 ¥660 会員 ¥440



日造協会員の SDGs
公園の長寿命化対策に寄与する取組み
複層林形成による次世代の森林づくり
山梨県支部 (株)富士グリーンテック

SDGs [17の目標]: 該当目標



当社が指定管理運営する都市公園施設において、マツ枯れ被害の抑制と並行して、将来の地域環境に適した在来種による植生形成を目的とした「次世代の森林づくり」を県民の参加を促しながら推進しています。

毎年10月の都市緑化月間に播種し、発芽した広葉樹（どんぐり）苗を翌年5月に「森の樹（こ）育て」というイベントで地域の在来種を主体に、ブナ科の落葉・常緑樹や抵抗性アカマツの植樹によ

る複層林形成を施しており、温暖化による環境変化や病害虫に強い森林を育成しています。

また樹木は一定の成長過程で萌芽更新により倒木リスクを抑えるなどの予防保全で持続可能な里山管理を行い、剪定枝はチップ化等森林資源の有効利用を施すことで、適正な樹林密度調整による成熟林の形成を目指しています。



森の樹育て
◆「みだいどんぐり教室」や「どんぐり課外授業」と並ぶ環境保全による地域協働活動の一環として次世代の森林づくりを目指した植樹活動「森の樹育て」を子供たちや地域のボランティアと一緒に、毎年春に開催しています。
◆園内のマツクイ被害が多かった既存樹林において、予め環境イベント等で播種・発芽したブナ科の広葉樹苗を環境抵抗性針葉樹苗と混植して複層林の形成を行い、持続可能な森林環境づくりを行っています。
◆自らの手で植えた苗が成長する過程を楽しみにしてもらい、自然環境や生物多様性保全に対する意識を多くの人に周知・啓発しています。



みだいどんぐり教室
◆“種育ては人間育て”をキャッチフレーズに毎年10月の都市緑化月間を利用して、どんぐり拾いや種まきによって自然を愛する心を育てる「みだいどんぐり課外授業」および休日を利用した体験イベント「どんぐり教室」を継続開催しています。
◆クヌギやシラカシなどの種を使った工作や自分の名前を付けてポットにどんぐりを植える体験コーナーを設けて、自然の恩恵に感謝し木や森の大切さを直接肌で感じてもらうことを目的としています。
◆子供たちの参加を多く募りながら家族のコミュニケーションの時間を有意義に過ごしてもらいます。
(平成18年より毎年開催中)



公園内にあるアカマツ保安林は、現在全域的なマツクイムシ被害で衰退が予測されます。持続可能な森林形成を行うため環境活動を通して複層林の形成を行っています。



ふるさと自慢
高知県
中心都市でありながら、
自然と文化が融和した街



清流の「仁淀川」

高知市は、四国の南部に位置し、豊かな自然と独特の地域文化が融合した魅力的な街です。

高知県の中心的な都市でありながら、自然環境も豊かで、清流の仁淀川はその美しい青さから「仁淀ブルー」と呼ばれ高知を代表する観光スポットとなっています。

高知市の地域文化は、土佐藩の歴史と深く結びついています。特に、坂本龍馬の故郷として知られており、彼に関連する名所や資料

館が多く点在しています。

高知城は市のシンボルであり、江戸時代から現在まで天守閣が残っている12城のうちのひとつです。城内には歴史資料が展示されており、土佐の歴史を学べる場となっています。

地域の食文化では、高知名物のカツオが特に有名です。鮮度抜群のカツオは、地元の居酒屋や食堂で手軽に楽しむことができ、薫焼きたたきは独特の香ばしさと風味



高知市のシンボル「高知城」



坂本龍馬の故郷であり関連する名所や資料館が多く点在

で地元民だけでなく観光客にも人気の料理です。

祭りも高知市の重要な文化要素であり、特に「よさこい祭り」は有名です。毎年8月に行われ、全国から多くの踊り手や観客が集まります。煌びやかな衣装をまとい、個性豊かな装飾を施した地方車とともに中心街を練り歩く踊り子の姿は、一見の価値ありです。

自然環境も高知市の大きな魅力で、南国の気候と豊かな緑が広がっています。



「仁淀川」の支流にあたる「枝山川」にある「にご淵」



鮮度抜群のカツオ

仁淀川や剣山の大自然は、アウトドアアクティビティの場として多くの人々に親しまれています。

また、海岸沿いにはいくつもの公園が設置されており、海や山の素晴らしい景観を楽しむことができます。

四国にお越しの際には、歴史・文化・食・自然が見事に調和した地域である高知で、さまざまな体験をお楽しみください。

高知県支部 武市 元太
(入交道路施設株)

街路樹剪定士の更新手続 オンラインで実施

街路樹剪定士の更新手続をオンラインで実施します。

【更新対象】

今年度末(3/31)に有効期限を迎える方、有効期限が過ぎている方

※更新対象者のうち、今年度に更新が必要な方と、有効期限を過ぎて3年以内の方には、9月末に案内ハガキを郵送しております。

【更新方法】

①オンラインでの講習を受講(カメラ・

マイク等不要)

②受講料の納入(クレジットカード・コンビニ払い・ペイジー(ATM決済))

③資格認定証に使用する顔写真の送信

【手続期間】

2024年10月1日～2025年1月31日
詳しくは日造協ホームページに掲載しております。

【詳細】

<https://www.jalc.or.jp/sentei/file/GSK-01.pdf>

【造園用フルハーネスの購入方法】

造園の作業に適した「造園用フルハーネス」を会員特別価格でご購入希望の方はURL(<http://shop.kousinen.com/>)よりお申込ください。



- 総務企画部会
9/18 今期の各部会の事業計画と課題について、審議・情報共有
- 安全部会コアメンバー会議
9/11 荻野部会長・内田氏・野村氏・山口氏で、今後の造園用フルハーネスの取り扱いについて検討
- R7 建築工事監理指針改訂委員会(第1回植栽及び屋上緑化分科会)
9/24 3年毎の改訂に向け検討
- 造園 CPD エビデンス部会(造園学会)
9/27 教育記録証明のためのエビデンスを確認
- 街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会(試験部会)
9/10 緑地樹木剪定士認定試験(夏期)の採点結果の確認と「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」の改訂方針、街路樹剪定士の更新手続き方法について審議
- 街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会
9/12 緑地樹木剪定士認定試験(夏期)の可否判定と「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」の改訂方針、街路樹剪定士の更新手続き方法について審議

- 植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
9/15 植栽基盤診断士認定試験(学科試験)を6会場で開催 9/19 採点
- 資格制度委員会(全国)
9/26 採点結果の確認と土実地試験について審議
- 造園領域発展戦略委員会正副委員長、担当理事会議
9/17 今期の各部会の事業計画と課題について、審議・情報共有
- 女性活躍推進部会
9/18 東京都立城東職業訓練センター出前講座
9/19 建設産業女性定着ネットワーク 関東ブロック意見交換会
9/27 今期の事業計画と今後のスケジュールについて情報共有・審議
- 国際委員会
9/3-7 AIPH 総会(ポーランド・ワルシャワ)
- 2027年国際園芸博覧会特別委員会
9/5 博覧会準備状況、屋内・屋外出展の調整状況等について情報共有

編集後記 いつからか娘が口をきいてくれません。原因は、何も思いあたらず。「ビシッと強く言わないから舐められるの。」と妻からの口撃力…。今日も早く寝よう。



父から息子へ、カブトムシの翼

(株)林造園建設工業
京都府支部
林 宏樹



僕の趣味は、休みの日に息子のやりたい遊びに連れて行ってあげることです。

無趣味な僕にとって最大の趣味ができたといっても過言ではないです。

息子の中ではいろいろなブームがあり、最近はお虫が大好きでアゲハチョウを卵からアゲハチョウになるまで育てたりしました。

ある日家に帰ると息子がカブトムシの育て方をYouTubeで見せていました。

その様子を見て僕も昔、カブトムシを捕りにいったりしていたと妻に思い出話をしていたら、息子がカブトムシの幼虫がほしいと言い出したので次の日取りに行く約束をしました。

翌朝になり約束通り地元の山に行きました。

一緒に土を掘り返したりして、幼虫を探しましたが少し季節外れだったこともあり、幼虫はいませんでした。

残念がる息子を見てカブトムシ(成虫)ならいるのではないかと思います。僕が昔、父とカブトムシを見つけた所へダメ元で向かいました。



④土を掘り返すも幼虫はおらず⑤成虫を見つけ大喜び

そしたらなんとその木にはたくさんのカブトムシがいたのです!! 息子は大喜び。妻も大喜び。その様子を見て僕は心の中でガッツポーズしました。

たくさんいたのですがオスとメスを1匹ずつ連れて帰ることにし、帰りにカブトムシを飼うために必要なものを買って帰宅しました。

その日から欠かさずお世話する息子をみて成長する姿を感じることができ嬉しい気持ちと同時にあつという間に大きくなるのだろうと少し寂しさも感じます。ですが今という時間を大切に出来る限り家族と過ごしたいと思います。

そして何よりこの出来事は 父から僕へ。僕から息子へ。なにか繋がったものを感じ、この夏の深い思い出となりました。

25(金) 運営会議
・「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会

【11月】

- 5(火) 広報活動部会
- 7(木) 総支部長・支部長合同会議、花と緑のつどい
- 8(金) かわさきフェア視察、造園技術フォーラム
- 12(火) コスモス国際賞授賞式
- 14(木) 建専連 全国大会
- 21(木) 総支部・支部交流会(北海道)
- 22(金) 第62回技能五輪全国大会～25日まで
・総支部・支部交流会(北陸、中部)
- 26(火) 総支部・支部交流会(近畿)
- 27(水) 福島県立福島明成高校出前講座
- 29(金) 総支部・支部交流会(四国)

委員会等の活動

- 広報活動部会
9/3 日造協ニュース9月号の内容確認、2025年1月までの記事構成について審議

事務局の動き

【10月】

- 1(火) 広報活動部会
- 3(木) 運営会議
・財政運営強化等検討ワーキング
・2027国際園芸博覧会特別委員会
- 4(金) 経営環境改善部会
・全国リーダーズ勉強会～5日まで
- 7(月) 植栽基盤診断士認定委員会
- 8(火) 造園技術フォーラム部会
・総支部・支部交流会(東北)～9日まで
- 10(木) 総支部・支部交流会、現地視察(関東)
- 11(金) 技術委員会(全国)
- 15(火) 都市緑化川崎フェア庭園展コンテスト審査会
- 17(木) 北陸地方整備局企画部との意見交換会
- 18(金) 全国造園デザインコンクール等推進部会
- 19(土) 第41回全国都市緑化かわさきフェア～11月17日まで
- 23(木) 財政基盤強化部会・会員拡大推進部会合同会議
- 24(木) 登録造園基幹技能者講習(大阪)～25日まで